

開講科目名 / Course	生体反応学各論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	市瀬 孝道	
担当教員名 / Instructor	市瀬 孝道	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	概論で学んだ病気の種類(7つのカテゴリー)と臓器に起こる病気が結びつけられるように系統別に病気を学び、病気の成り立ちや形態学的・機能学的な変化や特徴を理解・習得する。	
到達目標	1. 系統別に起こる病気がどの種類(7つのカテゴリー)の病気であるのかが判断できる。 2. 系統別に起こる病気の成り立ちや形態学的変化、特徴が説明でき、得られた知識が看護実践に役立てられる。	
DPとの対応	1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	01. 消化器系疾患 02. 呼吸器系疾患 03. 循環器系疾患 04. 泌尿器系疾患 05. 生殖器系疾患 06. 内分泌系疾患 07. 血液疾患 08. 脳・神経系疾患 09. 運動器系疾患 10. 感覚器系疾患(眼・耳鼻咽喉・皮膚)	
その他の授業の工夫	復習や国家試験に役立てられるように系統別の疾患を2~3ページにまとめたプリントを配布するとともに、疾患の形態や機能変化を視覚的に学べるようにパワーポイントを用いて講義する。	
時間外学修	予習では教科書の講義箇所を事前に読み、おおよその内容を理解しておく。復習では教科書やプリントを用いて重要なポイントとなる知識を整理し、教科書の付録の病理学整理ノートを活用して試験に向けたトレーニングを行う。	
評価方法と評価割合	筆記試験100% (60点以上を合格とする)	
テキスト	カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ)	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		